

「BYOD を活用した教育改善に関する調査研究」FAQ

大学 ICT 推進協議会 (AXIES) ICT 利活用調査部会

A. 今回の調査自体に関して

1) 調査の目的は何ですか？

BYOD を活用した教育改善の実態を把握した上で、高等教育の質の向上等への活用方策について検討を加えることを目的としております。

2) 今回の調査の主体である AXIES とはどのような組織ですか？

AXIES は、Academic eXchange for Information Environment and Strategy から AXIES と呼ばれています。日本語名では大学 ICT 推進協議会と言います。高等教育・学術研究機関における情報通信技術を利用した教育・研究・経営の高度化を図り、我が国の教育・学術研究・文化ならびに産業に寄与することを目的に活動をしています。詳細については以下の URL にアクセスし、ご覧ください。

<https://axies.jp/ja>

3) 調査に必ず回答しなければなりませんか？

回答は任意となりますが、本調査は我が国における高等教育機関の BYOD による教育改善に関する数少ない悉皆調査です。また、本調査の集計結果は文部科学省にも共有され、今後の高等教育政策にも活かされます。本調査の主旨をご理解いただきご協力のほど、よろしくお願いいたします。

4) いつまでに回答する必要がありますか？

本調査への回答は、2017 年 2 月 10 日（金）までにご利用いたします。

5) 回答データの取り扱いについて教えてください

本調査は事業代表機関である AXIES からの委託に基づき、京都大学の協力を受けて、京都大学の Web アンケートシステム LimeSurvey を利用して実施しています。また、本調査で得られた回答データは AXIES の研究員により分析されます。ご回答いただいた内容は、統計的に処理され、個々の大学の情報が公開されることはありません。

6) 今回の調査の結果は公表されますか？

本調査の結果は、機関を特定できない形式で集計し、AXIES のサイトや年次大会にて結果を公表することを予定しております。また本調査の結果は、以下 AXIES ICT 利活用調査部会

の研究者により分析され、学会等で発表を行うことがあります。それ以外の用途には使いません。

【AXIES ICT 利活用調査部会メンバー】

主査： 重田勝介（北海道大学）

メンバー： 酒井博之（京都大学）、辻靖彦（放送大学）、
稲葉利江子（津田塾大学）、平岡斉士（熊本大学）

B. 調査の回答に関して

1) Web で回答する前に質問項目を確認することはできますか？

調査ページに PDF 版の質問紙を用意しております。下記 URL にアクセスし、ダウンロードしてご取得下さい。なお、調査ページにアクセスするには、依頼状に記載されたパスワードが必要です。

調査ページ：<https://axies.jp/ja/ict/2016survey>

2) 大学等コードがわかりません

科研費申請の際に利用する機関番号一覧（以下 URL）にてご確認ください。

<https://www-kaken.jp/jsp/jsp.go.jp/kaken1/kikanList.do>

なお、上記の調査ページにも掲載しております。

3) 回答必須の項目で答えられないものがあるが、パスすることは可能ですか？

パスすることはできません。「わからない」等を選択してください。

4) 回答を修正したい時には、どうしたらよいですか？

修正をすることはできません。お手数をおかけしますが、はじめから回答し直してください。最新の回答データを回答結果とさせていただきます。

5) 回答を途中で保存して再開することはできますか？

回答の途中保存と再開はできません。お手数をおかけいたしますが、PDF 版の質問紙をご利用いただくなどして、一括での回答をお願いいたします。

5) 郵送での回答は受け付けていますか？

郵送での回答を受け付けておりません。お手数をおかけしますが、調査ページにアクセスし、ご回答いただきますようお願いいたします。

G: 過去の調査に関して

1) AXIES は過去にも同様のアンケートが行っていますか？

これまで文部科学省から委託され、京都大学、放送大学教育支援センター（旧 ICT 活用・遠隔教育センター）、旧独立行政法人メディア教育開発センターが平成 17 年度より実施してきた、e ラーニング等の ICT を活用した教育の現状把握及びその分析を行う調査を引き継ぐ形で、大学 ICT 推進協議会（AXIES）は調査を実施しております。平成 26 年には MOOC に関する調査を、平成 27 年には ICT 利活用教育に関する調査を実施いたしました。

2) 過去に BYOD を活用した教育改善のアンケートが行われたのであれば、その回答を見ることはできますか？

過去に同様の調査は実施しておりません。現状についてお答えください。

以上

D: 用語集

回答の際に、参考にしてください。

1) BYOD: Bring Your Own Device

教育環境の改善やコスト削減のために、教育機関が所有または指定するモバイル端末を使い、または学生が所有するモバイル端末を使って、教育学習に使用すること。導入方法として、教育機関が所有する端末を貸し出す方法、学生に端末 OS や機種を統一して一斉に購入させる方法、性能やソフトウェアを指定した複数の推奨モデルから学生に選択させる方法、学生が持参するモバイル端末をネットワークに接続させ教育目的に利用させる方法などがあります。

2) モバイル端末

ノートパソコンを含む携帯して持ち歩ける電子機器のことを指します。例としてノートパソコンやタブレット端末、スマートフォンなどがあります。

3) モバイル端末の必携化

学生に何らかのモバイル端末を授業利用のために持参することを義務づけることを言います。